小学校 第6学年 社会科学習指導案

- 1 小単元名 大和朝廷(大和政権)とくにの統一(7時間扱いの6時間目)
- 2 本時の学習(6/7)
 - (1) 目標 大和朝廷が、 $5\sim6$ 世紀ごろまでに九州地方から東北地方南部までの豪族を従えたことを「金錯銘鉄剣」等の資料から読み取り、国土を統一していったことを理解することができる。

(2)展開

学 習 活 動 ・ 学 習 内 容【 】	資 料
① 前時までの復習を行い、古墳からいろいろな遺物が発掘されたことを確認	・稲荷山古墳から
する。	の出土品画像
【古墳について】大仙(仁徳陵)古墳が5世紀に作られた日本最大の古墳	• 埴輪画像
百舌鳥・古市古墳群が2019年7月に世界遺産として登録	・ 土器画像 (土師
古墳の種類…円墳、方墳、前方後円墳	器、須恵器)
古墳からの出土品…勾玉、土器、埴輪	
稲荷山古墳からの出土品等	
② 「博物館で学ぼう」(問題編)を見て、稲荷山古墳(埼玉県)から出土した	・動画「博物館で
金錯銘鉄剣と江田船山古墳(熊本県)から出土した銀錯銘大刀から分かるこ	学ぼう」(問題
とを考える。	編)

学習課題例

例1 … 国土はどのように統一されていったのだろうか

例2 … 古墳がつくられたころの世の中はどんなようすだったのだろうか

【金錯銘鉄剣】埼玉県行田市稲荷山古墳から出土

金で115文字が刻まれている。

辛亥年が471年と考えられている。

「ワカタケル大王」という大和朝廷の大王の名前が書かれている。

【銀錯銘大刀】熊本県江田船山古墳から出土

銀で75文字が刻まれている。(教員が伝える)

「ワカタケル大王」という大和朝廷の大王の名前が書かれている。

- ※「ワカタケル大王」という共通のワードをとらえさせる。
- ※「ワカタケル大王」が大和朝廷の大王(のちの天皇)ということをとら えさせる。

③ 教科書や資料集等に掲載されている「前方後円墳の分布図」も一緒に提示して考える。

【前方後円墳】前方後円墳を作るためには大和朝廷の許可が必要であったため、前方後円墳が作られているところまで大和朝廷の力が広がっていたことがわかる。

大型の前方後円墳が近畿地方に多いのは、特にこの地域に勢力が強い豪族がいたと考えることができる。

- ※ 学習方法例としては 個人 \rightarrow グループ \rightarrow 一斉(発表 \rightarrow 確認) 若しくは 個人 \rightarrow 一斉(発表 \rightarrow 確認)
- ④ 「博物館で学ぼう」(解説編)を見て、「大和朝廷が九州から東北地方南部までの豪族や王を従えていたこと」をとらえる。
- ⑤ 遺物によっては中国や朝鮮半島からもたらされたものがあったり、大陸から日本に渡って住み着いた人(渡来人)がいたりしたことを知る。

【もたらされた技術や物】

家の竈を作る建築技術、焼き物(須恵器)、製鉄、漢字、仏教など 【須恵器(すえき)】大陸から伝えられたのぼり窯を用いて製作した土 器。色が灰色で窯づくりため焼成温度が高い。

対して

- 【土師器(はじき)】当時の赤茶色の土器。野焼き、もしくは地面に穴を 掘って焼成するため密閉性ではないため焼成温度が 低い。
- ⑥ 8世紀になると神話などによって国の成り立ちや人々の生活が天皇の命令によって書物として書かれるようになってくることを知る。

「古事記」、「日本書紀」…国の成り立ちに関する神話 「風土記」…各地の人々の生活様子や地域の自然などを記した書物

学習課題のまとめ例

大和朝廷は九州から東北地方南部までの豪族や王を従えていた。

- ⑦ 振り返りをする。
- ⑧ 次時の予告をする。

・前方後円墳分布 図」(各校で用 意)

- ・動画「博物館で 学ぼう」(解説 編)
- ・馬冑 (将軍山古 墳出土)
- ・土器画像(土師 器、須恵器)